



もくじ			
えび人 vol.85	2	文化会館・市民ギャラリー	10
今号の表紙	3	相談	11
2月17日～3月17日は		図書館	12
確定申告期間	4	子育て・HUGHUG赤ちゃん	14

「広報えびな」の共通マークとルール

日・日にち 期 間 時 間 場 所 対 象 定 員
 内 容 講 師 費 用 持 ち 物 そ の 他 任 期
 条 件 主 催 Eメール ホームページ 問 合 せ
 申 し 込 み 予 約 制 祝 日 ・ 振 替 休 日 を 除 く 休 日
 高 齢 者 対 象 の 教 室 な ど えびな健康マイレージ対象
 市〇〇〇課への郵送…「〇〇〇課へ」とあるものは「〒243-0492海老名市役所〇〇〇課行」で届きます
 市役所開庁時間…省略している場合は原則「月～金8時30分～17時15分」

今号の表紙

題字と写真は市民の方の作品を掲載しています。
ご協力ありがとうございました。

題 字

えびな

「び」のバランスをとる事が難しかったです。
杉久保小学校 棟近和奏さん(10歳)



写 真

タイトル：車両基地 夕暮れ
撮影場所：かしわ台車両センター
撮 影 者：柏ケ谷在住 石川秀昭さん



編集雑記

毎月15日号の表紙は皆さんの応募写真から選んでいます。どれもすてきな写真ばかりで、パソコン画面と出力した紙とを交互ににらめっこしながら表紙を決めています。よく感じるのは、応募者それぞれの視点が違うなということ。もちろん私も。皆さんの写真から多様な海老名を見られるのがいつも楽しいです。(た)



(写真上) 作品を見てもらえるのが何よりうれしい。多くの人に見てもらいたい
(写真中) 「とにかくかわいいの」。これまで作った中で一番のお気に入り
(写真下) パッチワークもプロさながら。手芸はストレス解消にも



今月のえび人

藤谷 怜子氏
(東柏ケ谷在住・76歳)

さくらキルトクラブ創設者・講師。東柏二丁目地区社協「ビナさくら」会員。元民生委員・児童委員。週3回のジム通いを続けるほど、体を動かすのも好き。

作り上げる楽しみと 見てもらう喜び

「いつでもかわいくて、いくら見ても飽きません。自分で作れば、なおさらいとおしいのよ」。目を細めて、つるし雛の魅力を語る藤谷さん。以前携わっていたサロンの活動も含めると約15年間、地域で手芸講師として活躍しています。

つるし雛は完成までに2年かかるといいます。講師としては褒めたり励ましたりして力添えを、作り手としては仲間と助け合って完成させる楽しさで、作品を見てもらう喜びを自らの力にします。仲間とは「自分の作品が一番かわ

いい」と自慢し合うのが常。「クラブ仲間には私にとってなくてはならない存在です」。「私は人が思うよりも気が強く、負けず嫌い。一番すてきなを作りたい。適当には作りたくない。いいものを作りたい」と秘めた情熱を穏やかに語ります。

最近が高齢者の交流活動のサポートにも力を入れています。陽だまりのよい場所づくりを目指して、温かな縁を育みます。